

東北風景写真家協会会員向け会報「東風季報」第68号です。
当会報は会の行事、活動計画、各種のお知らせ、撮影適所、撮影情報、撮影テクニックなどの記事を掲載しております。

発行
東北風景写真家協会
〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡4-1-8
パルシティ仙台1階F号
東北カラーデュープ株式会社榴岡店内
Tel 022-256-2141, Fax 022-256-2142
HP・<https://www.tohoku-fukei.com/>
編集 進藤・阿部

◆撮影実習セミナー◆

当初、春季撮影ツアーを計画していましたが、コロナ禍の終息、インバウンドの増加関係で希望の宿泊施設の確保が困難な事と、第8回作品展の開催時期と新緑が接近していること等を考慮して中止としました。会員から要望が出ていた、以前毎年実施していた撮影実習セミナーを代替事業として開催することになりました。

【開催内容】

1・開催日時
令和6年7月23日(火) 9:00~16:00
受付時刻 9:00~9:30

2・開催場所
メイン会場・トークネットホール仙台(仙台市民会館)

3・申込先 ①電話申し込み
(tcd) 東北カラーデュープ(株)内
東北風景写真家協会事務局
〒983-0852
仙台市宮城野区榴岡4丁目1-8-1F
TEL 022-256-2141
②同封の申し込み用ハガキ返送

ただし、募集人員は20名につき先着順で定員になり次第締め切りになります。

【実施内容】

定禅寺通りと西公園周辺を中心に撮影実習を行います。

10:00~12:00
4・昼食 弁当を用意します
12:00~12:40

5・作品セレクト提出
12:40~13:30

6・作品講評 作品投影添削
13:50~16:00
撮影データを各自規定枚数選択し、スクリーンに投影、講師より指導を受けます。

7・終了予定時刻 16:00

【募集内容】

8・参加会費 2,000円 昼食弁当代を含む
9・募集人員 20名
先着順定員になり次第締め切り

10・募集対象
東北風景写真家協会会員および東北フォトウォーキングクラブ会員

11・参加申し込み受付開始
2024年6月6日(木) 10:00~ 定員締め切り

【業務担当者・協賛】

12・講師 竹内 正 会長(日本写真協会会員)
13・業務担当 セミナー担当の進藤幹事長、星幹事
14・協賛
東北フォトウォーキングクラブ(担当 丸山慎一)

いよいよ『美しい日本』作品展開幕

風景写真を撮影して作品として発表する人達、それを観賞する人々との交流の場として、また、風景写真を楽しむ人達の輪を広げ、日本の美しい風景を広く紹介し、記録する役割を果たしてきたこの作品展も、お陰様で第八回目の開催を迎えることができました。

この間、私達は東日本大震災の発生や新型コロナウイルスウィルス感染症の蔓延、グローバルな地球温暖化の影響、そして今年正月の能登半島地震と大きな災禍を経験し、それらは私達に強い不安と閉塞感をもたらしたように感じます。

それらの不安や閉塞感、私達に自らの心の拠り所は何処なのか、後世に残し伝えて行くべきものは何なのかを一人ひとりが模索し、深く考えさせられる機会を与えてくれることになったようにも思われます。

自然と人間との係わりについて思いを馳せる時、私は必ず頭に浮かぶ事柄があります。それは、元禄二年(一六八

九)五月八日(陰暦に奥のほそみちを訪ねて、多賀城碑を眼前にした松尾芭蕉の感慨です(「奥の細道―壺の碑」)。*

大意はこうです。「これまで歌枕探訪を通して、無窮とされる自然もまた時間による有りようの変化を免れないことを悟ってきた。その中にある有限の存在である人間の営みを記す碑(文字)が残されていることの驚きはいかばかりであろうか」。

芭蕉は、それを「行脚(あんぎゃ)の一徳、存

命の喜び、羈旅(きりよ)の労も忘れて、涙も落つるばかりなり」と書き記します。

今年が多賀城創建一、三〇〇年の節目の年「神亀元年(七二四)創建」に当たり、復元された南門も来年の一般公開に向けて着々と整備が進められています。また、今年の三月には多賀城碑が文科省の審議会で国宝指定の答申がなされました。

今回の作品展を通して、来場者の方々と自然の造形である美しい日本

最後に、これまでに会員の皆様から寄せられた多くのご協力に感謝申し上げます。

*参考文献:「奥の細道」の旅三〇〇年記念出版『奥の細道』学習研究社一九八七、一〇、一〇、第七刷発行。

大友紀夫記

会員の写真展開催お知らせ

横山光太郎 写真展
「海辺三十六景」
2024年7月12日(金)~16日(火)
10:00~17:30(最終日は16:00まで)
東北工業大学一番町ロビー1F ギャラリー
仙台市青葉区一番町1-3-1 TEL.022-723-0538

秋季撮影ツアーについて

当初、会員の皆様からの要望が多い群馬・栃木の北部方面を検討いたしました。宿泊施設の確保が困難なため、青森・秋田・岩手方面に切り替えて検討中です。開催時期については、紅葉の最盛期と予想される11月初旬を想定しています。

具体的な撮影行程や実施日・費用等につきましては9月発行予定の東風季報にて詳細をお知らせいたします。

会員の皆様におかれましては、是非スケジュールを空けてお待ちしております。よろしくお願いいたします。

お待たせの作品展の一部をご紹介します。
多くの作品が皆様のご来場をお待ちしております。
お誘い合わせのうえ是非ご覧下さい。

沸き立つ秋 進藤 弘融

風巻く朝 熊谷 正

★令和6年年会費
納入のお願い

円)は、前年度未納の方
お振込みください。振込
手数料はご負担をお願い
します。

●七十七銀行旭ヶ丘支店
普通 5272599
●東北風景写真家協会
ゆうちょ銀行
18190

トウホクフウケイ
シャシカキウカイ
お問い合わせ先
会計担当 孫田幹事宛
090-2360-2973

写真展入賞者
ご紹介◆

○「第32回みちのく宮城の小京都・村田フォトコンテスト」
・金賞(村田町長賞)
「清流不動明王像」
中野 好太郎

○「第29回大和町まほろばの風景」写真展
・優秀賞
松田 みどり

○「太平洋写真学校賞」
松田 理恵子
「日和(ひより)」
大友 悦男
「傑作を狙って」
阿部 和之
入選
「幻影」
岩城 剛
「粛として」
星 朝子
佳作
「冬の夕暮」
大友 紀夫

受賞おめでとうございます

お知らせ

「東北フォトウォーキングクラブ」の撮影地と日程のお知らせです。
撮影の機会を多くして・かつ健康増進にご利用下さい。

フォトウォーキング

講師：竹内 正・丸山慎一（公益社団法人 日本写真協会会員）

《勉強会 令和6年7月3日（水）・見学大歓迎・参加費無料》
場 所 日立システムズホール3階エッグホール
（旧・仙台市青年文化センター）
時 刻 13：30～16：30
フォトウォーキング 4月～6月撮影会作品・自由作品・講評
作 品 デジタル：USB、プリント（2L・A4）
フィルム：プリントで 合計 一人6点以内

《フォトウォーキングの予定(6月～9月)》

【各回の参加費用と2年会費】

- ・旅行傷害保険が自動付帯されて安心倍増です
- ・4月以降実施分より 11,000円
（バス、高速料、駐車料等税込み）
- ・クラブ会費 2年 1,000円

【日程と撮影地】

令和6年 6月11日（火）
場 所 秋田県・新緑の小安峡、川原毛地獄
集 合 仙台駅東口バスプール 7：30発
泉中央区役所駐車場 8：00発



令和6年 7月16日（火）
場 所 山形県・月山地蔵沼、田麦俣集落
初夏の湖沼と田麦俣多層民家と旧小学校
集 合 泉中央区役所駐車場 7：30発
仙台駅東口バスプール 8：10発



令和6年 8月20日（火）
場 所 山形県・鳥海神秘の丸池様、玉簾の滝
映えスポット神秘の泉と玉簾の滝
集 合 泉中央区役所駐車場 7：30発
仙台駅東口バスプール 8：10発



令和6年 9月10日（火）
場 所 福島県・猪苗代布引高原の風とひまわり
風の高原・風力発電風車とひまわり畑
集 合 泉中央区役所駐車場 7：30発
仙台駅東口バスプール 8：10発



申し込受付開始：『6月3日（月）10：00から』
河北新報トラベル 電 話 022-211-6960
FAX 022-723-4672

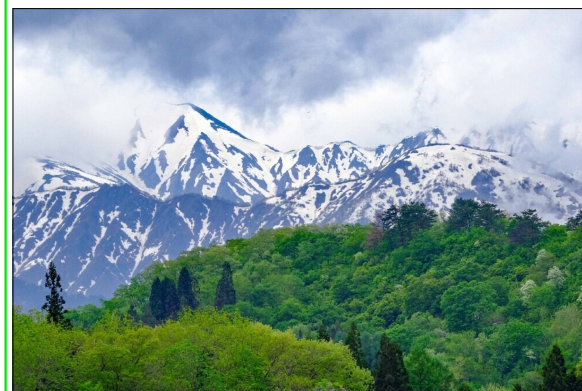
インターネット申し込み <https://kahoku-travel.com/>

企画 東北フォトウォーキングクラブ 協賛 東北風景写真家協会
催行 河北新報トラベル

フォトウォーキング ・・・新緑の白川湖・・・

好天続いだったゴ
ールデンウィーク明
けの5月7日、一
転、風雨強しの予
報。山形道から南陽
を経て飯豊町
へ向かう。目
的の白川ダム
に着くと、
覚悟の雨対
策は無用と
なりほつと
する。た
だ、湖面は
さざ波で映
り込みには程
遠い。湖畔か
ら思い思いに
シャッターを切る
が決め手に欠くよう
だ。
そのうち雲間に飯
豊連峰が見え隠れす

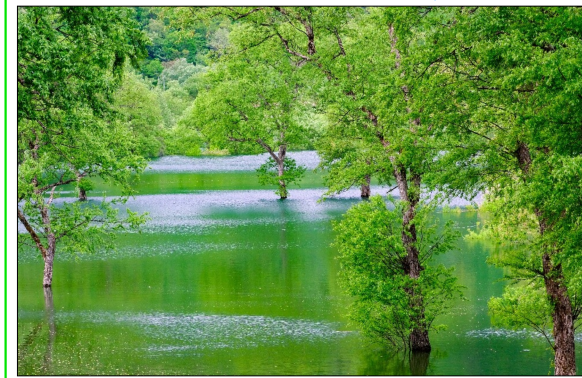
る。残雪の雄姿を目
にして、学生時代に
山形、福島、新潟に
またがる連峰を数日
かけて縦走したこと
を思い出す。かなり
ハードでもう飯豊は
ご免と思っても、何
年か経つとまた行き
たくなる。その繰り
返していろいろなコ
ースを歩いた思い出
の山だ。
新緑の水没林は、
雪解けと田植えの間
の限られた季節だけ
に出会えるめずらし
い風景。芽吹き緑
は濃くなり、曇天で
光もフラット、なか
なかな思うようには撮
影できない。いつも
はWBを太陽光、ス



飯豊連峰

タンダードモードで
撮ることが多いが、
ミミをオート、ビビ
ッドモードに変えて
メリハリがでないか
試みる。
後半はやや高台に移
なる源流の森に移

り、山道を散策、藤
の花、トチノキなど
も目に留まる。下方
の水没林を眺め、水
と若葉の織り成す光
景を探す。これぞと
思う水没林にPを走
回しながら湖面を走



緑の風

る風の道を追う。当
初、思い起こしたイ
メージと違っても、
臨機応変試してみる
のも興味深い。露
出、色合など物足り
なかったところはパ
ソコンでの調整で多

少しは補えるだろうと
期待する。
立ち寄った道の駅
で名物を求めて楽し
いフォトウォーキン
グを終えた。
（秋葉）

風景写真・季節の撮影法 | 7

「夏の強い光を避けた風景撮影」 竹内 正

今回は、夏の強い光線を避け
てグラデーション豊かな写真の
作成について考えましょう。

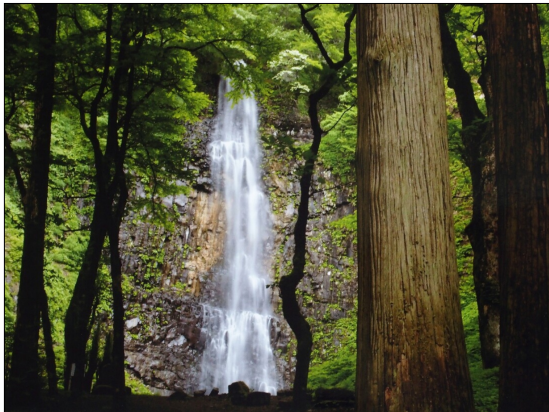
1：夏の花風景の撮影

初夏の花、紫陽花の中でも大柄
の白紫陽花は清楚で美しく、迫力
もありすが、晴天の強い光では
「シロトビ」してボリューム感の
描写が困難です。
明るい曇天、小雨、早朝（夕刻
は赤力ブリするので不可）の柔ら
かい光を選ぶので不可）の柔ら
かい光を選ぶ、背景に杉林等暗い
バックを選定すると白い花が浮か
び上がりボリューム感を出すこと
ができます。薄日の時は前面に雲
の影を入れて奥行き感を出しま
す。PLと露出補正で諧調を調整
するとイメージに近い写真の撮影
ができます。



2：夏の滝風景の撮影

清涼を呼ぶ夏の滝は魅力的な被
写体ですが、滝のみの撮影では、
夏の強い光線では流れが「シロト
ビ」して滝の表情の描写ができな
いことがあります。アンダーにす
ると周辺部が「ツブレテ」しま
がちです、そこで発想を変えて、前
景に暗い木等を入れて暗くして、
トンネル構図にすると滝の表情を
出しやすくなります。滝は信仰の
対象になっていきます、不動滝等々
の名称に色濃く残っています。
そこで前景に岩、石積、石仏等
をシルエットで配すると雰囲気
表現できます、暗めの露出補正で
神秘的な描写が得られます。



3：建造物と花風景の撮影

地域の特徴的建造物と季節の花
の組み合わせは歴史、生活の背景
に育まれた独特の風景が展開され
ています。山形県の田麦俣の多層
民家の庭先には特徴的な花々が見
られます。
今回は盛夏に咲く「たちあお
い」と多層民家の組み合わせで撮
影しました。多層民家の暗くなる
大きな茅葺屋根と花のバランスを
如何に整合するかが課題になりま
す。中焦点距離のレンズを使って
屋根と花の関連を自然に整えて、
被写界深度を活用したピンポイント
の設定、屋根の明るさをPLフィ
ルターで調整して、露出補正をや
や暗めに撮影した結果ほぼイメー
ジ通りの撮影ができました。



「公共交通機関使用の撮影地」

「みちのく杜の湖畔公園」

の花々、蔵王を背景にした口ケ
ーション、ふるさと村の茅葺集
落等、季節問わず撮影ができる
人気スポットです。

交通：タケヤ交通バスが川崎
町経由で運行されています。
仙台駅西口・青葉通り16番バ
ス乗り場・ダイヤは変更になる
場合がありますので確認してく
ださい。

編集後記

- ▼お陰様で 第8回作品展が開幕しました。
- ▼フォトウォーキングへの参加報告について
秋葉さんに投稿して頂きました。
- ▼お知らせの方への会の行事参加と当協会
への入会お声がけもよろしくお願いいたしま
す。